

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください

記

講 師：清水 正裕 先生

清水歯科医院 院長

演 題：～30年の臨床を通して考えたこと見えてきたこと～

日 時：平成26年 1月23日 (木)

17時00分 ～ 18時30分

場 所：歯科棟南 4階 特別講堂

講義趣旨：

歯科診療に30年余り携わってきた。開業以来、非常勤による矯正治療も含め、良好な30年予後症例をまとめようと取り組んできたのであるが、実際には様々な問題に直面し反省を繰り返してきた、というのが正直なところである。

市井の開業医の視点ではあるが、30年の臨床過程において気付いたことを話させて頂くことで、臨床や研究上のヒントとなることができれば幸いである。

- ・当院における臨床上的特徴

(全て顕微鏡下で治療、エンドからセットまでスーパーボンドを基本使用)

- ・補綴治療の予後について

(歯根破折、前歯部補綴マージン部、歯根膜)

- ・モンゴロイドである日本人に対する歯科学構築について

(上顎位、顔面の前方成長、矯正治療終了時の前歯部被蓋関係)

- ・口腔育成について

連絡先：摂食機能保存学分野 三浦宏之（岡田大蔵）（内線5521）